

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日若葉台教室

保護者等数(児童数) 21 回収数 16 割合 76 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	1	2	自発と放デイ分かれており、トイレ、職員室、面談室等、区切りがあるので子供達に分かりやすく、活動に取り組みやすいと思う。活動によっては、もう少し広い方が良いと思う。	活動内容によっては公園や体育館を利用し、理学療法士指導の下、積極的に体を動かす事に取り組んでいる。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	3	活動、送迎においても最適な先生方を配置されており、円滑に活動が行われていると思う。	引き続き、お子様2名に対し支援員1名を配置し、より専門性の高い人員配置を行いたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1	0	3	大変分りやすく大きな文字や絵で示しており、初めて来所した時でも分かりやすかったです。	ご利用者の状況に応じて、適切な配慮や環境ができるように、職員同士意見を出し合い、対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	0	2	いつでも綺麗に整理整頓、お掃除されており気持ちよく過ごせている。 見学、契約の際もきれいに片付いていた。	毎朝、職員全員で清掃しながら、教室内の安全確認、受け入れ準備を行っている。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	1	0	0	いつもよく様子を見て頂いて、毎回支援計画は的確、丁寧に作成して頂いている。支援計画の目標に向かって本人もとても成長している。	ご利用者、保護者様との面談の機会をなるべく多く持ち、PDCAサイクルを大切に支援計画を作成する。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1	0	2	支援計画の作成時や契約の際に、子どもに合った合いそうな支援内容を提案してもらった。	ご利用者様を第一に考え、またニーズに沿った支援内容の設定を心掛ける。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	0	0	一人一人の特性に合わせて支援して頂いていると思う。	スモールステップを念頭に、見直しも含め、都度職員間で話し合い作成したい。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	2	0	0	毎月、イベントや季節に沿ったプログラムで、驚くほど素敵な作品を持ち帰ってきて、本人もとても楽しく活動に取り組んでいる。 毎日様々な内容に取り組んでいる。	固定化、マンネリ化しない様に、職員間で意見を出し合い、プログラムを計画する。また新しいことにも積極的にチャレンジしたい。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	11	月から金まで幼稚園に通っている為、その機会には十分にある。	公園等での関わりはあるが、長時間の関わりは無い為、今後の課題。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0	契約の際に御説明いただいた。	毎回契約時には読み合わせを行い、ご不明な点があれば都度ご説明させて頂いている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	1	0	1	毎回、支援計画を示しながら丁寧に分かりやすく的確な支援内容の説明をしていただいている。 他の事業所とも連携していただき、一丸となって目標に取り組んで頂きとても有り難い。	個別支援計画等のご説明を毎回対面にて行っている。 状況によって計画の見直し、ヒアリングを行い、またスモールステップを意識した計画の説明を行う。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	5	3	2	6	通い始めて日が浅い為、良く分からない。	現時点での実施はしておらず、今後の課題とし、個別対応を取り入れた。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1	0	0	いつも子どもの様子を共有させて頂き、ご相談させて頂いている。 支援計画作成の際に色々と話を共通理解は出来ていると思う。	連絡帳や送迎の受け渡しの際などで、その日の様子や出来事を報告している。
保護者 への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2	0	0	困りごとでの対応やアドバイスをいただいている。先生方の対応がとても上手で、いつもお手本にして家でも取り組ませて頂いています。	個別支援計画のご説明の際に必ず面談し、保護者様の問いかけ、疑問に対し十分な支援を心掛ける。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	6	8	通い始めて日が浅い為、良く分からない。 保護者同士の関わりがあると嬉しい。	保護者様によって様々な考えがあって現状実施していない。 参観日などを設け、その後に交流の機会を設けたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	0	0	急な予約の変更も快く受け入れて頂き、迅速に対応して頂き有難いです。 専門的な知識を持たれている支援員の方ばかりなので、安心して相談でき返答も迅速です。	保護者からの相談にも、迅速かつ的確に職員誰もが対応できるよう心掛ける。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1	0	1	支援員の方にも伝えやすいので、とても助かっています。	連絡帳の充実や、送迎の際や場合によっては面談し保護者様への分かりやすい説明を心掛ける。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2	0	3	毎月のおたより、連絡帳、送迎の際等に伝えてくれている。	ホームページの充実。また毎月教室内新聞を発行し、活動内容、連絡事項をお知らせしている。 自己評価も積極的に周知したい。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	1	0	0	契約の際に詳しくご説明いただいた。	ブログや新聞の写真において、ご利用者の顔を隠すなどの配慮を行う。 職員一同個人情報の取扱いに注意している。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	3	1	0	活動の中でもよく訓練をしており、本人も災害時でもどうしたら良いかを良く分かっているのが助かっている。	緊急時、防犯、防災訓練は活動に取り入れているが、保護者への周知説明は不十分であったと思われる。今後の課題としたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0	2	毎月のプログラムに必ず避難訓練が組み込まれており、本人も理解できて行動できるようになった。	必ず毎月、活動で避難訓練に取り組んでいる。 今年度は職員が救急救命講習を受講した。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	1	0	幼稚園で落ち込むことがあった日も、利用することで、気持ちの切り替えが出来、楽しく過ごせる様になってきている。 とても安心できる居場所になっている。	ご利用者様が楽しく通所できるよう、雰囲気作りや、支援員の対応に注意している。 楽しいだけでなく、学びの場として、様々な経験を積んでいただく。
	23	事業所の支援に満足しているか	14	2	0	0	どの先生もとても温かく、アットホームな雰囲気とても安心できます。 支援計画、プログラム、送迎もしっかり取り組んでいて、とても満足しています。 連絡帳に活動中の様子が詳しく記載されているので、毎回読むのが楽しみです。	定期的アンケートをとったり、場合によっては面談をして、より良い支援に向けて取り組み、より満足度の高い教室を目指す。

278 30 13 44

76%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日若葉台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	午前中、放デイがない時は、サーキット活動で2部屋使うなどしている。	土日長期休みの時の、部屋の利用を考え、場合によっては体育館を利用する。
	2 職員の配置数は適切であるか	11	0	児童二名に対し、支援員一名の配置を基本としている。	土日祝日の職員増員を行いたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	月の目標や注意すべきことを可視化して配慮している。 一日の流れを大きく掲示している。	障がいの特性に応じた、臨機応変な配慮を心掛けたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	毎日朝夕にしっかりと清掃できている。	床がしゅうたんなので、食べ物を落としたりした際の衛生面が気がかりであり、掃除の工夫が必要である。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	朝礼、終礼の実施、月一回の職員会議、連絡ノートの活用などを行っている。 気になることを細目に相談し合っている。	目標設定の把握と統一された支援実行の徹底。 伝達事項が行き届くよう、連絡ノートの活用
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	アンケートの配布を行い、また職員会議においてフィードバックを行い支援に活かしている。	保護者の意向を汲み取りやすくなる為、媒体が複数あった方が好ましく今後検討していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	こぼんはうすさくら本部ホームページにて公開している。	評価結果を公開しているという事を、保護者等幅広く周知していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	現在は行っていない。	どのような方法を用いるかは今後の課題である
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	毎月の職員会議時に研修を行っている。	毎月の職員会議の際に、感染症、虐待身体拘束研修をはじめとする、支援のあり方を学ぶ機会を設けている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	児童を多面的に観察し、管理者、支援員を含めカンファレンスを行っている。また保護者へのアンケートや聞き取りを実施し作成している。	スモールステップを意識した計画を立てる為に、支援時に子供たちを観察しながら関わる。深める支援を念頭に、教室内でよく協議し作成する。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	現状アセスメントツールを使用していないが、お持ちいただいた資料やご意見をともに専門職が把握、分析している。	お持ちいただいた資料を理解できる専門職の確保。また資料をもとに、当教室で出来る事出来ない事を明確に説明する。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	ご家庭や子供の事情、難しさにについても情報共有がなされ、それも含め支援の方向性を定めている。	地域支援を今後の課題としたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	どのような課題があるか、またどのような支援を行うか、職員が閲覧、把握し支援を行っている。	全ての支援員に計画が周知できるようさらに徹底する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	活動内容を見発管と確認し進めている。 担当者が決まっているが相談できる環境である。	プログラムが固定化しないよう、様々な職員が意見を出し、また新しいことにも挑戦していく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	過去の活動を振り返り、有益な活動は再度取り入れている。またねらいを変えたり、ステップアップした課題に挑戦するなどしている。	職員間で、児童にとって何が必要かを常に議論し、新しい活動にも積極的に取り組む。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	フリーな時間を活用したり、また集団活動の中で個別の時間を作ったり、常に個別支援を意識している。	小規模集団療育の教室ではあるが、集団の中でも常に個別支援の意識を持ち続ける。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	朝礼後に毎朝必ずその日の活動の打ち合わせや確認を行っている。	送迎の時間が迫ることで細かい所の打ち合わせ難しい日もあり課題である。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1	終礼時に必ず一日の振り返り、気付いた点などを報告し合い、問題点などあれば対応を協議している。	その日勤務していない支援員に伝わっていない時がある。連絡ノートなどの活用を徹底したい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	連絡帳、個人記録、一日の教室ご利用記録等、なるべく多くの記録をとり、今後の支援に活かしている。	記録する時間の確保が難しい時はあるが、なるべく質の良い記録記載を心掛ける。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	会議などで児童についての情報共有を行い、計画の見直しを議論している。	担当者会議に積極的に参加し、連携を行いながら、支援計画の見直しを検討していく。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	現在は児童発達支援管理責任者が出席している。	児発管が出席できない日もある為、今後は対象児童に精通した他の専門職支援員の出席も検討したい。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	他事業所、関係機関との連携が不可欠であり、積極的に連携している。	日程など足並みがそろわない時があるが、情報共有を大切にしていきたい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	現状行っていない。	今後対応した場合は連携が前提であると認識している。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2	現状行っていない。	今後対応した場合は連携が前提であると認識している。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	先方からの要請や、状況に応じて連携し、情報共有を行っている。	一部の児童だけだったり、場所の問題もあり、今後広げていくべき課題。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	小学校入学予定の児童については、市の要請があれば情報提供している	もっと繋がりを持ち、連絡を取り合い支援につなげていく。	

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	他事業所が行う研修に参加したり、社会福祉協議会の研修を受講している。	管理者のみではなく、支援員も外部研修をもっと受講させたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	7	公園や見学先で、少しだが接する機会がある。	普段幼稚園保育園に通われている利用者以外は、機会が少ないので検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	7	現状参加していない。	支援時間が一日の為、なかなか外出が難しいが、機会があれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1	連絡帳や送迎の受け渡しの際に、なるべく伝え、場合によってはお電話させていただいている。	保育園送迎の場合、保護者とお会いする機会がないので、情報伝達不足に注意が必要である
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	5	現状質問があった時のみ個別支援している。	子供の発達に合わせて家庭と一緒に支援を行う。保護者も含めた勉強会の場を設けたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1	契約時に時間をかけて行っている。	分かりやすく、また説明不足がないか注意していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	毎回ご説明させて頂き、同意を頂きご印鑑を頂いている。	ガイドラインを十分に理解しスモールステップを心掛けて、支援計画をより分かりやすくご説明したい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	相談を受けた際には、丁寧かつ適切な対応ができるよう心掛けている。	悩みなどを言いやすい環境を作ったり、保護者が相談しやすい雰囲気、対応を心掛ける
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7	現状行っていない。	父母の会等の活動が無い。必要ないとの声も多いが、希望者のみ集めるのも良い機会と思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	保護者より相談を受けた場合には、速やかに管理者などに報告している。	初期対応を重要視して、迅速な報告、協議し適切に対応したい。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月おたよりを発行し、写真付きで活動の紹介や連絡事項などをお知らせしている。不定期ではあるがブログでも活動のねらい等発信している。	役割分担も検討し、もっと発信の頻度を増やしたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	1	個人情報に関する書類は全て鍵付き書庫に保管を徹底している。職員全員個人情報を持ち出さない様にしている。	今後も徹底していく。データなどの消失、流出にも注意する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	支援の際や、送迎時の保護者対応の時、何か支障した時はスタッフ間で共有して対処している。	常に意思疎通を図りながら、また正確な情報の伝達を心掛ける。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7	現状行っていない。	どのようにして行うかは今後の課題である。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	各種訓練は月に一回実施している。消防署、警察署の見学を行い防災、防犯の意識を高めている。救急救命講習を受講した。	保護者に対しての周知をもっと行いたい。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	各種訓練は月に一回実施している。消防署、警察署の見学を行い防災、防犯の意識を高めている。救急救命講習を受講した。	救急箱や非常時に持ち出す物の整備、確認の徹底。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	契約時にお聴き取りを行い、持病があり服薬が必要な場合は医師の指示書の準備をお願いしている。	必ず利用者の健康状況を把握する。保護者との情報共有を心掛ける。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	ご契約時に児童についてのヒアリングを行い必ず把握している。	アレルギーがある場合、基本お弁当とおやつは持参をお願いしている。引き続き情報把握に努める。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	ファイル作成し職員全体で記入する習慣をつけている。	些細な事でも積極的に記入し、職員全員が閲覧共有し、今後の安全に活かしていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	年に一回以上研修を行っている。	外部の研修にも積極的に参加したい。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	現在身体拘束が必要な子供がいないが、契約時には、危険が差し迫りやむを得ない場合として、説明している。	現在身体拘束が必要な子供がいないが、必要な場合はしっかりと支援計画の記載を行う。	